

年 組 名前:

米産桃輸入 情報共有へ



産地6県が会議、対策検討

米国産桃の輸入解禁に備え、県は31日、桃の主要産地5県との連絡会議をオンラインで初めて開き、産地の課題や振興策について情報を共有することを確認した。山梨など6県の関係者が今後、定期的に意見を交わす。協議内容をそれぞれの産地強化策に役立てるとともに、産地間で連携して外国産桃の対策を検討する。

〈宇賀神将樹〉

会議のメンバーは幹事を担う山梨のほか、福島、長野、山形、和歌山、岡山の5県と各県のJA担当者で構成。オプザバーとして農林水産省の職員も参加した。山梨県果樹・6次産業振興課の担当者は昨年7〜11月に計3回、米カリフォルニア州で行った桃の現地調査の結果を説明。州内の桃は日本産の約3倍の生産量に上ることや、摘果をほほしないため小玉の果実が多い状況などを報告した。県の産地強化策としては、高級品種への改植などを

桃産地5県の関係者らと設けた連絡会議の初会合
 甲府・JA会館

を促進する方針も示した。農水省の担当者は「輸入解禁に向け、政策を検討する上で、現地の市場関係者が日本市場をどう捉えているか知ることが重要だ。(情報を得た場合は)共有してほしい」と求めた。

6県などは3月中旬に2回目の連絡会議を開き、来年度も継続する。次回は他県の桃の生産や販売状況、産地強化策などの説明がある予定。農水省は輸入解禁に関する米国との協議の進捗よくを報告する予定。

同課の担当者は「今日は初回ということもあり、山梨側からの報告がメインだったが、次回以降は積極的に他県と情報を交換したい」と話した。

(2023年2月1日付 山梨日日新聞7面)

問1 記事の会議に参加した桃の主要産地県名を、全て答えてください。

.....

問2 米カリフォルニア州の桃について、どのような報告がありましたか。

.....

問3 あなたは、米国産桃が輸入されることで、桃農家にどのような影響が出ると考えますか。また、その対策を考えてください。

・影響 :

・対策 :

.....